

Title	小引
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1911
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.5, No.4 (1911. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19111020--002

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

營業御案内

徽 章 賞牌

金銀木盃 七寶

其他美術金屬各種

期日正確、技術精巧、品質純良、價格低廉

右之通御注文に應じ調製上納申上可く候間多少に不拘御用命の程伏て奉願上候

東京市麴町區飯田町三丁目十番地

諸官省
各學校 御用

日本帝國徽章商會

鈴木 梅吉

電話番町八百五十七番

小 引

創刊に際して、何等の主張、何等の抱負のその巻頭を飾らざりし三田學會雜誌は、曩に遂に休刊の止むなきに至れり。而も新日本、新文明の先驅を以て任じたりし、否な任じつゝある、慶應義塾同社たる者、豈、學海に寄與することなくして晏如たるを得んや。況んや日本文明の現状、識者の指針を要すること、屈指に違あらざるの時に於てをや。茲に於てか月刊は一變して季刊となり、從來の卷數號數を繼續し、聊か面目を刷新して讀者に見えんとす。刷新後の主張抱負は、漸次誌上に流露す可きも、要するに社會的諸科學に關する新研究の發表を主とし、文明の健全なる發展に資せんとするに在り。換言すれば私學たる慶應義塾存立の理由を、

絶えず、大方に向て示さんとするに在り。而も私學とは官學に對するの措辭なるのみ、慶應義塾は之が關係者の私有物にあらず、實に邦家社會の公有物なり、公學なり。故に敢て三田學會雜誌の舊稱は之を改めざるも、大方同志の公學たる慶應義塾の發行に係る本誌に協力を與へられんことは余輩の切望して止まざる處なり。本誌の續刊に際して一言を卷端に辯ずるものなり。

明治四十四年十月

三田學會雜誌 第五卷第四號

論 說

同盟罷工と工場閉鎖

氣 賀 勘 重

一、性質

同盟罷工とは一企業又は多數の企業の労働者が其企業經營の進行に妨害を與へ若しくは全然其進行を停止するの目的を以て多數同盟して同時に其操業を停止するを云ふ。斯く労働者より進んで其労働を中止するものなるが故に又別に同盟罷業、労働停止又は労働中止等種々の名稱あれども何れにしても其目的は依て以て企業經營の進行に妨害を加へ企業家に苦痛を感せしめて之を自家の要求に屈服せしめんとする労働者の権力手段に外ならざるなり。労働者の此手段は